

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：防災費 目：消防指導費

事業名 岐阜県消防操法大会負担金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

危機管理部 消防課 消防係 電話番号：058-272-1111(内2883)

E-mail：c11193@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,000 千円 (前年度予算額： 2,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,000	0	0	0	0	0	0	0	2,000
要求額	2,000	0	0	0	0	0	0	0	2,000
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

県消防操法大会は主催者である県、県消防協会及び主管市町村と協働で開催するため、実行委員会を設置し、負担金を支出する。

(2) 事業内容

岐阜県消防操法大会実行委員会に対する負担金

(3) 県負担・補助率の考え方

県消防学校で開催することに鑑み、相当額を支出する。

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
負担金	2,000	岐阜県消防操法大会実行委員会負担金
合計	2,000	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

- (1) 各種計画での位置づけ
なし
- (2) 国・他県の状況
実行委員会による操法大会運営都道府県：岡山県
- (3) 後年度の財政負担
今後、開催市方式が継続され、開催市が実行委員会を立ち上げるのであれば、同様に参画する必要がある。
- (4) 事業主体及びその妥当性
県、県消防協会及び主管市町村の三者が協働して開催するため、実行委員会の設置、参画は妥当

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県消防操法大会に向けて、県消防協会のほか主管市町村と一体となって開催準備を行い、大会にあたる。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (S44)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

大会実施のための負担金であるため。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	「消防感謝祭」第71回岐阜県消防操法大会 日時：令和4年8月7日 主管：山県市 場所：山県市伊自良総合運動公園 ※当時は実行委員会方式では無い 指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和5年度	「消防感謝祭」第72回岐阜県消防操法大会 日時：令和5年8月6日 主管：美濃市 場所：県消防学校 指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和6年度	「消防感謝祭」第73回岐阜県消防操法大会 日時：令和6年10月27日 主管：美濃市 場所：県消防学校 指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	消防操法は、消防吏員及び消防団員が行う消火活動の基本であり、消防操法大会は消防操法の訓練成果を発表する場であるのと同時に、他の市町村消防団の操法と比較することにより自身の習熟度を確認する貴重な場であることから、地域の消防防災力の向上に必要である。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	地区大会を経るなどして選ばれた消防団が県内各地から参加しており、競技大会としてレベルの高い内容となっている。のみならず、参加者の家族などが日頃の消防団活動に感謝を示す場として、また一般の見学者に対しては消防団の活動をPRする場としても効果がある。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	会場設営など、大会の運営方法を毎年見なおし、経費の削減に努めている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 消防団員の減少等の社会的変化に対応し、将来的な大会のあり方を検討する必要がある。

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 将来的な大会のあり方については、県消防協会や市町村と議論する場を設けるなどし、検討していく。
--